

2023.5.25 (木)
第 41 回例会
(通算3710回)

2022-2023 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」

第85代会長 滝越 康雄
副会長 清水 輝彦
幹事 中島 政徳
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2022-2023 年度
国際ロータリーテーマ



2022-2023 年度
R1会長 ジェニアファー・ジョーンズ
第 2500 地区ガバナー
久木 佐知子 (旭川西 RC)

月間テーマ	青少年奉仕月間
本日のプログラム	「嵯峨記念奨学会新入奨学生紹介」・IM に参加して (嵯峨記念育英会委員会・理事会)
次週例会	「クラブアッセンブリー」(次年度理事会)

- ロータリーソング：我等の生業 ■ソングリーダー：郡 龍珍君
- 会員数 101 名
- ビジター なし
- ゲスト 武修館高等学校 藤田 睦子教頭・奨学生 3 名・保護者 3 名

会長の時間

滝越 康雄会長



お食事中の方は、お食事をしながらお聞きください。会長挨拶をさせていただきます。ロータリーの行事の報告です。5月21

日日曜日に『ロータリアンマスターズゴルフ』が雨の中、開催されました。6名の参加者の皆さん、ご苦勞様でした。

2つ目、5月18日に、武修館高校にてインターアクトクラブの新部員加盟式典に私と東堂委員長の2人で参加してきました。

本日は、本年度の嵯峨記念育英会新入生報告会には生徒の方、保護者の方、また教頭先生まで、当会場までお越しいただきまして本当にありがとうございました。

今日の会長挨拶ですけれども、毎回毎回話していると話の材料の新鮮味がないので、取材を兼ねて京都にいる娘に電話をしました。私の考えでは、外国人観光客が猛烈に多く、電車の中でも外国のようで日本じゃないみたい、就職や仕事は絶対に英会話が必要になってきた、そしてまた国際結婚が多い。そのようなことを聞いていたので、英会話を落とすどころにして、この内容でと思ったら、娘からすっかりバカにされまし

た。「それは当たり前の話で、なにが面白いの。スピーチのネタは1番がゼレンスキー大統領。2番がチャールズ国王夫婦。少し落として市川猿之助。最後はジャニーズの話がいい」と言うのだけれど、週刊誌の話です。

今日は高校生の皆さんですので、日本史の勉強にお役に立てばと思って、私なりにかき集めた原稿がありますので、お話をさせていただきたいと思います。

まずは鎖国の話ですけれどもオランダについて。私が好きな作家で、司馬遼太郎の『街道をゆく』という本の中で、17世紀のオランダにとって「国土とは船だった」という素晴らしい表現をしています。「オランダは小さな領土しかないのですが、欧州一の繁栄をしました。それには船という『海上の領土』があったからだ」という表現をしています。

翻って、1600年にオランダからのリーフデ号が漂着して、その船に乗っていたヤン・ヨーステンは、後に徳川家康に非常に可愛がられ、家康に屋敷を与えられました。それが東京駅八重洲口の由来です。オランダの徳川家康への入れ知恵やそそのかしは、東南アジアの日本人街への妨害を試みています。結局、表向き鎖国の原因は、キリスト教の布教・教えへの恐れですけれども、裏を返すと、東南アジアの各日本人街に日本人がどんどん進出して山田長政が日本人街の中心になっているじゃないですか。そういうことへの警戒心で、家康に「東南アジアに行かない方がいいよ。鎖国

した方が安全だよ」ということで妨害をしました。それが最近の学説のようです。

日本の鎖国と船のことです。家康は大船禁止令ということで、鎖国で外へ出さないように。ここが家康の意地の悪いところで、船のマストは1本柱1枚として、甲板もなし。ということは、お椀に柱を1本立てて帆を立てているということで、これは外に出て行かないように発展を妨げたということです。

ですから、日本では帆掛け船・帆を張った船の時代がなかったので、いきなり蒸気機関から始まってきます。

薩摩藩で島津斉彬が独自の技術で鉄鋼船の『昌平丸』を造りました。その時に外海へ出て行く時には国を表すために幕府から許可をもらい日の丸を掲げました。このことが日の丸のキッカケということです。司馬遼太郎風に言えば、日の丸は船印としてスタートしたと書いてあります。ここまでが鎖国関係の話です。

学生さんは明治維新を習うでしょうけれども、これはある学者の面白い説です。明治維新の本質というのは、イギリスが植民地政策で日本へ来て植民地にしたかったけれど、インドとの戦いでイギリス兵が相当死んでいるので、なるべくイギリス兵を死なせないためにインドのアヘンを中国に持ち込んで、お金を作って、長崎のグラバー邸の隠し部屋で裏取引をして坂本龍馬に渡し、日本で幕府対薩摩長州の内乱を利用したとしています。薩摩と長州の資金はイギリスのアヘン資金だと。これを見たとき、謎が解けました。これは多分、教科書には書いていないと思いますけれども、私は異説の日本史ばかりを読んでいます。受験の参考にはならないと思います。全然違うことが書いてあると思うので。

以上で、会長挨拶を終わります。ありがとうございました。

■本日のプログラム■ 嵯峨記念奨学会新入奨学生紹介

嵯峨記念育英会委員会 川本 和之委員長

皆さん、こんにちは。本年度嵯峨記念育英会委員会を担当しております川本です。よろしくお願いいたします。



去る5月9日、本年度の嵯峨記念育英会奨学生の選考委員会を開催させていただきました。委員会には石田嵯峨育英会理事長、他6名で選考させていただき、本日の3名の方に決定をさせていただきましたのでご報告をさせていただきます。

釧路湖陵高校1年藤原君。武修館高校1年土田さん。明輝高校1年杉村さん。3名の方が決定しております

ので、これから自己紹介とスピーチを一言ずつお願いいたします。その後に嵯峨記念育英会理事長の石田さんから育英会についてのお話をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは、1番目、釧路湖陵高校1年藤原廉望君、よろしくお願いいたします。

嵯峨記念育英会新入奨学生スピーチ 北海道釧路湖陵高等学校1年 藤原廉望さん



皆さん、こんにちは。湖陵高校1年2組の藤原廉望です。このたびは、釧路ロータリークラブの奨学生に選出いただきありがとうございます。

ます。

湖陵高校では来週、定期考査がありますので、皆さまの応援があることを胸に置きながら頑張っ定期考査に臨みたいと思います。

本日は、ありがとうございます。

武修館高等学校1年 土田彩月さん



皆さん、こんにちは。武修館高校1年1組土田彩月です。私が高校生活に思うことは、いままでの自分に負けないよう学力を高めるとともに

コミュニケーション能力を身に付けていきたいということです。

中学生の時は、先生方が用意した課題をこなしていましたが、高校では自主的に予習や復習などの家庭学習を行うことも大切にしていきたいと思っています。そして自分の課題を発見し、弱点が少なくなる工夫を心がけていきたいです。

私は、今年から箏曲部という部活に入りました。最初は友達に誘われて、なんとなく楽しそうだからという理由で入りましたが、実際はすごく大変です。7月に行われる全国大会に向けて猛練習をしています。思うようにできないときは挫けそうになりますが、できたときには達成感を感じられます。また同級生や先輩方との関わりが増えることで幅広い人たちとのコミュニケーションを取ることができ、より充実した部活動の時間を過ごすことができます。

そして、文化祭や体育祭などの学校行事にも意欲的に取り組みたいです。中学生の時は、行事が中止になることや規模が縮小されてしまうことがありました。しかし、様々な方々の協力のおかげで多くの学校生活の

思い出ができました。これからの高校3年間は、私も周りを見て誰かのために努力できるような人になることを目指し、悔いが残らないよう日々の生活を充実させていきたいと思っております。
ありがとうございました。

北海道釧路明輝高等学校1年 杉村美緒さん



皆さん、こんにちは。釧路明輝高校1年1組杉村美緒です。私は高校生活で頑張っていきたいことがいくつかあり、中学校生活ではできなかった周りをよく見て、冷静な判断をし、行動をすることを心がけていきたいと思っています。

以上です。ありがとうございます。

嵯峨記念育英会委員会 川本 和之委員長

3名の皆さんありがとうございました。今日は1年生のこれからスタートという皆さんからご挨拶をいただきましたけれども、3月は『卒業生の報告会』ということで3名の方が報告で壇上に上がられました。3年が経つとこんなにも成長するののかという皆さんがとても素晴らしい報告をされました。

どうか今日の3名の皆さんも、今日の緊張を思い出しながら、明るい自由な学生生活を存分に送っていただきたい。そのような支援をわれわれロータリークラブの嵯峨記念育英会が3年間、後押しというか応援をさせていただきますので、頑張って3年間、学生生活を送っていただきたいと思っております。

ここで嵯峨記念育英会理事長の石田さんに嵯峨育英会についてのご挨拶をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

嵯峨記念育英会 石田 博司理事長



嵯峨育英会の石田です。よろしくお願いたします。

お手元の嵯峨さんの履歴を私が読んで参りますので、一緒に目を通してください。メンバーの皆さまは資料がありませんので、どうぞ耳で聞いて嵯峨さんのイメージを膨らませていただきたいと思っております。

釧路市内の中心を流れる釧路川にかかる幣舞橋から富士見坂を登り切る途中の木立の中、港を一望する場所に銅像が建っています。釧路の漁業の近代化に情熱をかけた釧路水産界の先駆者・故嵯峨久氏を顕彰した

像です。

大正初期の釧路港は、マグロ漁業の基地として大変活気がありましたが、当時の漁船はいわゆる川崎船といって、風帆船、つまり無動力船でした。台風等の悪天候の際に港に戻る速度が極端に遅く、悪天候の被害をまともに受ける海難事故が大変多く発生しておりました。

そこで嵯峨久氏は、積極的に漁業者に発動機船の導入を促し、漁業効率を高め、同時に悪天候等による被害を少なくするなど漁業の近代化に務めました。また現在の副港魚揚場に岸壁、いわゆる通称『嵯峨岸壁』を構築し、マグロの水揚げ効率化に革命的成果をもたらした。釧路の水産業界に大きな業績を残されました。

この嵯峨岸壁漁港は、完全に民間の埋め立て事業として行われ、卸売市場・冷凍・冷蔵・製氷工場や漁業無線・燃料タンク基地がありましたが、残念ながら昭和20年の空襲で消失しました。故嵯峨久氏は、釧路漁業の父とも言われた人で、昭和初期に釧路魚菜市場の社長を務めております。

嵯峨久氏は若い頃、向上心に燃えていたが大変貧乏で経済的理由から十分な勉強をすることができず、成功を収めた後も向学心に燃えた青少年に経済的援助を与えることにより勉学の機会を与えることができないだろうかと常日頃、話していたということです。

しかし残念なことに、その夢を叶えることができず病氣療養中の昭和35年8月12日、東京において客死しました。享年84でした。当時の詳しい資料はありませんが、久氏は育英会設立に奔走されていたと思われます。

嵯峨久氏の後を継がれたご子息の嵯峨晃氏もまた釧路の漁業発展に尽くされ、経済的な手腕も相当なものであり、釧路経済界のリーダーとして活躍された方でした。晃氏はその父の夢を叶えようと苦勞を重ねたうえ、久氏が亡くなったおよそ1年後、昭和36年12月16日に財団法人嵯峨青少年育英会を設立しました。当時、育英会をつくることは大変なことで、当然、現在のよう

にインターネットで調べることもできず、育英会設立の手引書関係の本も皆無で、試行錯誤をしながら設立しました。監督官庁との連絡ひとつとっても長距離電話で、交換手を経由し空き回線を数時間待ちながら指導を受けて書類を作るという、その努力には想像を絶するものがあります。東京ロータリークラブ主管の米山奨学会が昭和27年設立です。それに遅れること9年で、北海道の片田舎で育英会が誕生したことは特筆すべき出来事ではないかと思われれます。

久氏と晃氏の2人とも釧路ロータリークラブのチャーターメンバーで、嵯峨晃氏は1961年に分区代理制度ができた時、当時の北海道の地区はR I 350地区のみで、その初代分区代理を務めて、1965-1966年R I 350地区ガバナーを務めておられます。

晃氏は、育英会設立にあたり、育英会の目標について次のように述べております。

『人の世話にならぬよう、人の世話をすよう、そして報いを求めぬよう』（これは明治の政治家・後藤新平の言葉です）、自立・独立の志のある人、この人こそわがわれわれの友である。後藤新平の言葉にあるような人が現在くらい必要な時代はないように思われます。このような若い人を発掘して、われわれの細やかであるが心を込めた贈り物をぜひ送りたい。これがわれわれ財団の念願であります」。これが晃さんの言葉なのです。

育英会設立当初の資料はほとんど残っておりませんが、設立申請書控え及び当時の預金通帳が残っており、設立時の苦勞が感じられます。資料によりますと設立時の基金は1,050万円、現在のお金に換算しますとおよそ1億円前後と考えられます。当時の晃氏は、漁業界はもちろん、釧路市の経済界においても絶頂期にあり釧路経済界の重鎮として大活躍されていたことが伺えます。

育英会設立時は、育英会の運営はもとより、奨学生の募集・選考・奨学金の給付などを1人で行っていましたが、あまりの忙しさの中、育英会活動を行う時間が少なくなりその後、育英会が休眠状態になりました。そのような中、育英会設立からおおよそ10年後の昭和47年4月10日に突然ご逝去されました。

晃氏のご逝去があまりにも突然だったため、育英会理事長を嵯峨家より輩出することが難しく、やむなく釧路ロータリークラブ会員の泉敬氏が理事長代行を務めることとなりました。しかし泉会員も当時、新進気鋭の弁護士として大変忙しく育英会活動に多くの時間を割くことができず活動は困難を極めました。

育英会及び嵯峨家として育英会の継続方法を模索しましたが、昭和50年9月、嵯峨家より釧路ロータリークラブに以下のような申し入れがありました。「釧路ロータリークラブに嵯峨青少年育英会を無償で譲渡したいので以降の運営をお願いしたい」。

そこで釧路ロータリークラブでは、昭和50年10月に臨時総会を開催し釧路ロータリークラブで運営することが承認されたのでした。

これが、ちょっと早口になりましたがけれども、嵯峨育英会ができ上がった物語です。何とも私ごときご紹介をして、更には理事長などという職に付いていることがとても恥ずかしいような、嵯峨親子の聖者に情熱を感じられるのです。

金品は多いか少ないか、大した額ではございませんけれども、その嵯峨さんという方たちの愛情を渡されたのだと思って、どうか世のため、人のために活かしていただきますようお願いいたします。

ありがとうございました。

嵯峨記念育英会委員会 川本 和之委員長

石田理事長、ありがとうございました。それでは、石田理事長と奨学生3名の方には壇上で写真を撮らせていただきます。石田さん、お願いします。

『IM参加報告』

(動画による報告)

中島 徳政幹事

IMは学びの場でございますので、お間違えのないようお願いしたいと思います。6月のプログラムですけれども、皆さまに配信させていただいております。1週目の1日夜間例会では、『クラブアッセンブリー』という形になっております。次年度理事会の担当です。2週目6月8日昼例会で、プログラムは『佐渡正幸ガバナー補佐エレクト卓話』という形で準備をさせていただいております。これは今年度、初めてなのですが、その後に『クラブ協議会』で、ガバナー補佐を中心に行うということで、今年度は例年と違う形になっておりますので、参加ご予約の方は例会後に『クラブ協議会』があると、お忘れなくお願いしたいと思います。

以上でございます。



2022-2023 年度 嵯峨記念育英会新入奨学生・石田理事長・川本委員長

本日のニコニコ献金

- 大道 光肇君 本年で当山開教百四十周年を迎えました。また。本日結婚五十周年ございます。妻に感謝です。
- 浅川 正紳君 飲食・食品業界の総会で表彰され、地元の新聞に掲載して頂きました。もっと笑顔で写れば良かったと後悔しています。
- 中島 政徳君 先日の白糠のIM、お疲れさまでした。ご協力ありがとうございます。

今年度累計 362,000 円